

研究結果 1

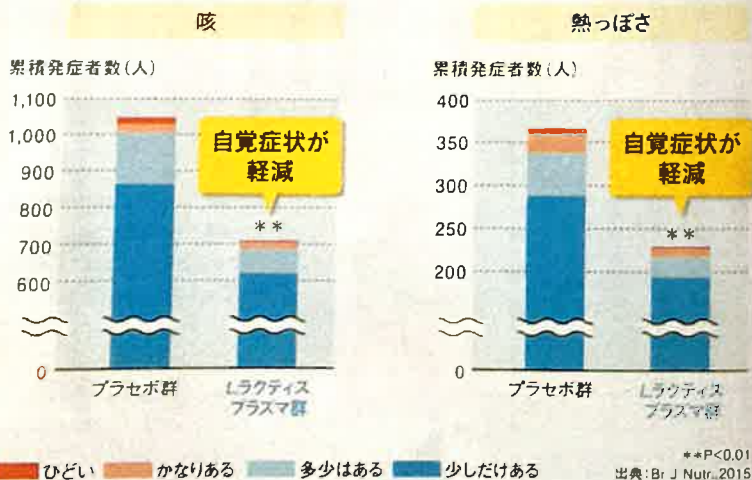
風邪・インフルエンザ様症状の発生リスクを低減

L.ラクティス プラズマを毎日摂取した成人は、咳や熱っぽさの自覚症状が軽減されました。

成人男女約200名を対象に、冬季に臨床試験を実施。
風邪・インフルエンザ様症状の累積発症者数について、L.ラクティス プラズマを摂取した方で「咳」や「熱っぽさ」の自覚症状が軽減されたことを確認。



風邪・インフルエンザ様症状(自覚症状の比較)

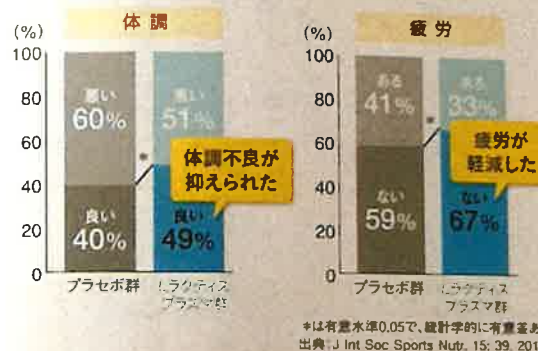


研究結果 2

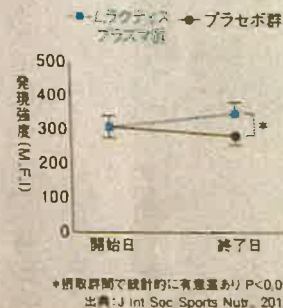
激しい運動をした後の体調不良や疲労感を軽減

学生を対象に激しい運動継続時の体調不良や疲労の自覚症状の累積を比較した結果、L.ラクティス プラズマ摂取グループでは、これらの自覚症状を軽減させることを確認。

運動後の体調・疲労の自覚症状累積



プラズマサイトイド樹状細胞の活性化指標

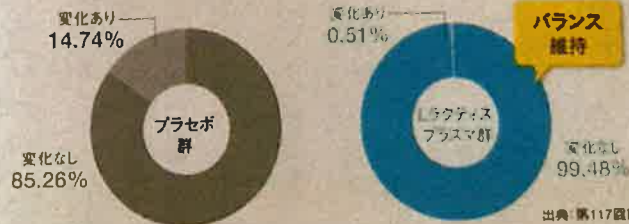


研究結果 3

肌フローラのバランスを維持する可能性を確認

L.ラクティス プラズマ摂取グループでは、肌フローラ^{※1}のバランスが維持されることを確認。また、肌のバリア機能に重要な役割を果たすタイトジャンクション遺伝子^{※2}の発現量の増加を確認。

肌フローラにおける効果



※1 肌フローラ(肌細菌叢)とは、私たちの肌に棲む細菌の集団のこと。肌フローラには、「善玉菌」「日和見菌」「悪玉菌」があり、このバランスが良好で安定な状態であれば、肌の健康も保たれやすいとされています。
※2 タイトジャンクション遺伝子とは、肌の細胞間士の結合に重要なたんぱく質を作る遺伝子で、水分保持や悪玉菌の侵入防御などに携わっているとされています。